

別添資料

# 生活基盤プラットフォーム（仮称）の概要

2024年7月29日

# コンセプトと取組意義

- 2023年9月、一般社団法人全国地方銀行協会（以下、地銀協）の**共同事業の候補として検討開始**した旨を公表
- 今般、地銀協に加盟する全62行が参加する共同事業として、**利用者の利便性向上を目指すプラットフォームの事業化を決定**

## ■コンセプト

実現したい社会	ライフイベントで発生する様々な手続きをスマートに完結できるWell-beingな社会
目指すサービスのイメージ	デジタル活用による銀行、自治体、インフラ企業などで <b>重複して発生する手続きのワンストップ化</b>

## ■地方銀行の取組意義

- ・ 地銀全62行で構築する**広域PF**の確立
- ・ **1対N**（複数金融機関含む）の取引が可能
- ・ 自治体や地元インフラ企業等との**強固なリレーション**

利用者の利便性向上

## ■地方銀行の状況（2024年3月末時点）

金融機関数	店舗数	ATM数
<b>62行</b>	<b>7,845店</b>	<b>28,051台</b>
本店所在都道府県	役職員数	預金量
<b>46都道府県</b>	<b>120,129人</b>	<b>332兆円</b>



# ライフイベントの整理 1/2

- 人生においては**様々なライフイベント**（「結婚・出産」「子育て」「引越し」「死亡・相続」など）が発生
- **利用者の利便性向上**に向け、様々な手続きの**ワンストップ化・オンライン化**による**手続き簡便化**を志向

	対象者	手続き			政府の動向
		自治体	銀行	その他民間	
結婚・出産	50万組/婚姻数 80万人/出生数	<ul style="list-style-type: none"> <li>婚姻届</li> <li>出生届</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名変更</li> <li>新規口座開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種民間サービスは提供</li> </ul>	出生届オンライン化 <ul style="list-style-type: none"> <li>2026年度目途に出生届のオンライン化実現（2024年8月中目途に希望する自治体で試行）</li> </ul>
子育て	2千万人/19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭的支援手続き</li> <li>児童手当</li> <li>医療費助成等</li> <li>教育・保育サービス</li> <li>保育園入所手続き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種民間サービスは提供</li> </ul>	子育て・介護ワンストップサービス <ul style="list-style-type: none"> <li>各種手続きのオンライン申請が順次拡大。自治体によって様々</li> </ul>
引越し	530万人/市区町村間移動(除く域内移動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>転入届・転出届</li> <li>住所変更</li> <li>マイナンバー、免許証</li> <li>保険・税金届け出</li> <li>年金、市税</li> <li>転校手続き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住所変更</li> <li>契約変更</li> <li>保険、融資、投信</li> <li>新規口座開設</li> <li>口座振替</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移転手続き</li> <li>電気・ガス・水道・NHK</li> <li>住所変更</li> <li>電話・郵便他</li> </ul>	引越し手続きオンラインサービス <ul style="list-style-type: none"> <li>民間PFとマイナポータルのAPI連携開始</li> <li>基本4情報提供</li> <li>同意で情報取得可</li> </ul>
死亡・相続	150万人/死亡者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡届</li> <li>年金停止</li> <li>免許証返納</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相続手続き</li> <li>生保受け取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約者名義変更</li> <li>電気・ガス・水道・NHK</li> </ul>	死亡・相続ワンストップサービス <ul style="list-style-type: none"> <li>課題整理中（2026年度末 死亡届等のオンライン提出開始）</li> </ul>

手続きのワンストップ化・オンライン化

# ライフイベントの整理 2/2

- まずはライフイベントにおいて、自治体、銀行、インフラ企業で複数の手続きが必要な「引越し」からサービスイン
- 引越しは政府も民間との連携によるワンストップサービスの展開を目指しており、歩調を合わせやすい領域

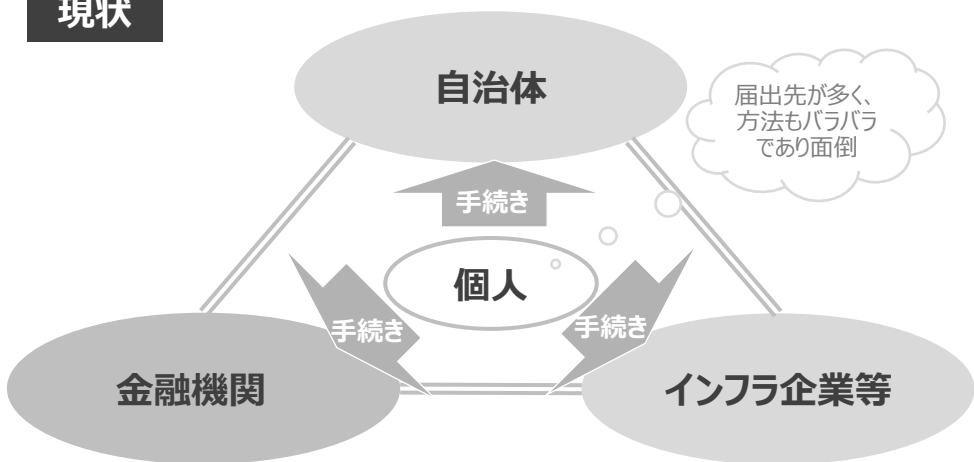
	対象者	手続き			政府の動向
		自治体	銀行	その他民間	
結婚・出産	50万組/婚姻数 80万人/出生数	<ul style="list-style-type: none"> <li>婚姻届</li> <li>出生届</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名変更</li> <li>新規口座開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー</li> <li>各種民間サービスは提供</li> </ul>	出生届オンライン化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2026年度目途に出生届のオンライン化</li> </ul>
子育て	2千万人/19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭的支援手続き</li> <li>・ 児童手当</li> <li>・ 医療費助成等</li> <li>教育・保育サービス</li> <li>・ 保育園入所手続き</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">地銀協</div> <div style="text-align: center;">↑</div>	目指す方向性は同一 <div style="text-align: center;">←→</div>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">政府</div>
引越し	530万人/市区町村間移動(除く域内移動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>転入届・転出届</li> <li>住所変更</li> <li>・ マイナンバー、免許証</li> <li>保険・税金届け出</li> <li>・ 年金、市税</li> <li>転校手続き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住所変更</li> <li>契約変更</li> <li>・ 保険、融資、投信</li> <li>新規口座開設</li> <li>口座振替</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移転手続き</li> <li>・ 電気・ガス・水道・NHK</li> <li>住所変更</li> <li>・ 電話・郵便他</li> </ul>	引越し手続きオンラインサービス <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間PFとマイナポータルのAPI連携開始</li> <li>基本4情報提供</li> <li>・ 同意で情報取得可</li> </ul>
死亡・相続	150万人/死亡者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡届</li> <li>年金停止</li> <li>免許証返納</li> </ul>	<div style="text-align: center;">↓</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引越しは就職、結婚の際など人生において複数回発生する可能性があり、事業者ごとに手続きが発生するなど、ワンストップ化の効果が高い領域。</li> </ul>	

証券・保険・クレジットなど幅広く連携

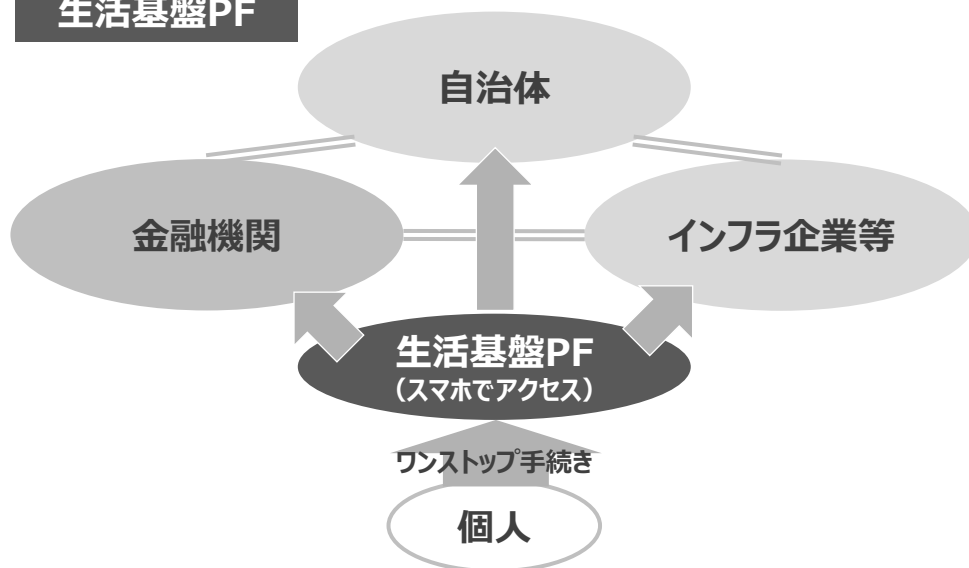
# 引越しワンストップ化のニーズ

- 大学進学、結婚、マイホーム購入、転勤など、**引越し**は人生の中で平均4回程度発生する**労力の大きい手続き**
- オンライン手続きのパスワードを覚えていない、何がどこまで完了したか管理できない等、手続きの多さ故の悩みも多く、そうした課題も手続きのワンストップ化と合わせて解決

## 現状



## 生活基盤PF



- 生涯に平均**4回程度**\*1経験する引越しの都度、膨大な手間が発生
- 引越しに伴い変更手続きを要するのは、概ね**10サービス以上**\*2
- 住所変更手続きに面倒さ・不便さを感じた人が、**85%程度**\*2  
そのうち特に面倒だった手続き先のトップ1・2が**自治体、銀行**\*2
- 手続きをプラットフォームに集約することで、**ワンストップ**に
- 手続きの全体像把握と、漏れを防止する仕組みづくり

\*1 国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査」平均引っ越し回数最多年齢層である50～54歳の4.23回から引用

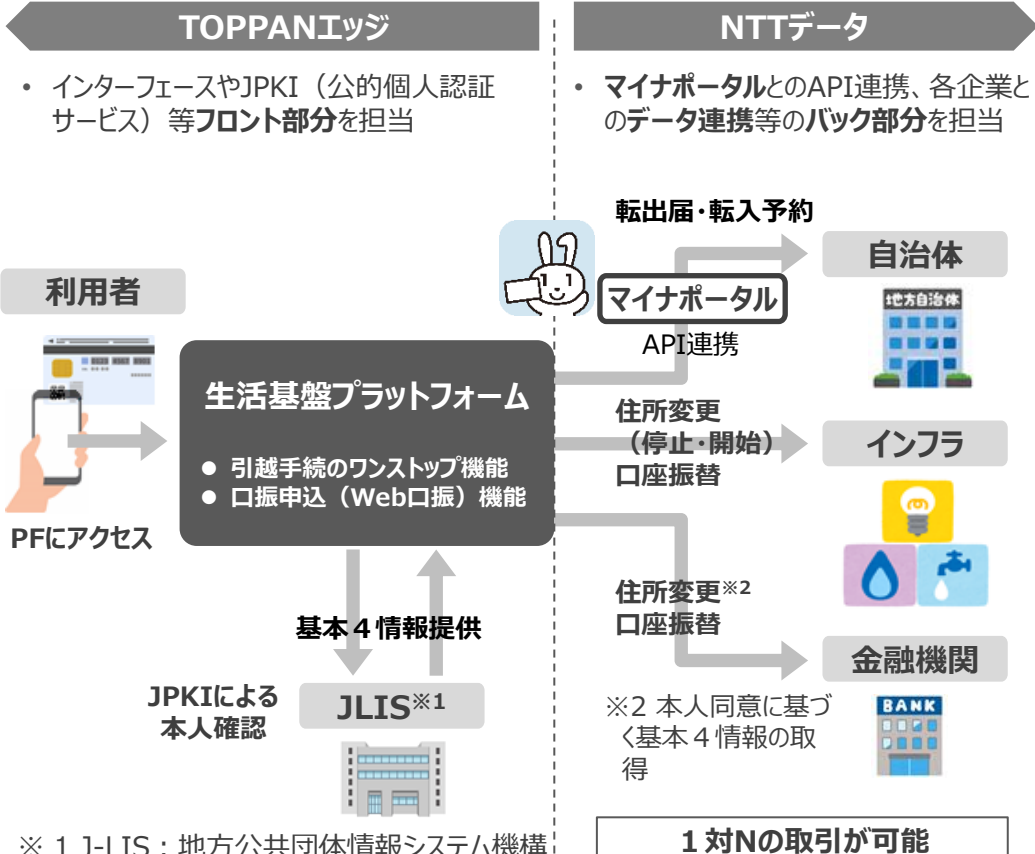
\*2 2024年2月に地銀協にて実施したニーズ調査（18～69歳の男女1000サンプルのインターネット調査）の結果より

# 当初（サービス開始【2025/2】・第1ステップ【サービス開始から1年後】）実装する機能

- まずは「引越し」に伴う諸手続きのワンストップ化・オンライン化を目指し、下表1～4の機能を実装予定
  - 2025年2月を目途に1-3の機能を、その1年後に4の機能を実装予定（その後も順次機能拡充）
- TOPPANエッジとNTTデータの知見や実績を活かしてシステム構築

1	<b>自治体への転出届・転入予約</b> <span style="float: right;">2025年2月目途 サービス開始</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体への「転出届」「転入予約」がオンライン上で完結</li> <li>日本全国の自治体への手続きが可能</li> </ul>
2	<b>金融機関の住所変更</b> <span style="float: right;">2025年2月目途 サービス開始</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加金融機関の「住所変更」手続きを一度にまとめて申請可能</li> <li>生活基盤PFが顧客本人の同意を得ることにより、同意取得後10年間、J-LISから正確な顧客データが金融機関に連携</li> <li>地銀から開始し、メガ、信金、信組、保険、証券等へ対象を拡大</li> </ul>
3	<b>口座振替の登録</b> <span style="float: right;">2025年2月目途 サービス開始</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加する企業の「口座振替登録」の手続きが可能</li> <li>各金融機関との口振契約があれば、インフラ企業や自治体以外でも業種問わず利用可能（学校、保育園、塾など）</li> <li>委託者は比較的低コストで利用可能</li> </ul>
4	<b>インフラ停止・開始</b> <span style="float: right;">（サービス開始から1年後）</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加するインフラ企業の「停止・開始」の手続きが可能</li> </ul>

## 機能の実現方式

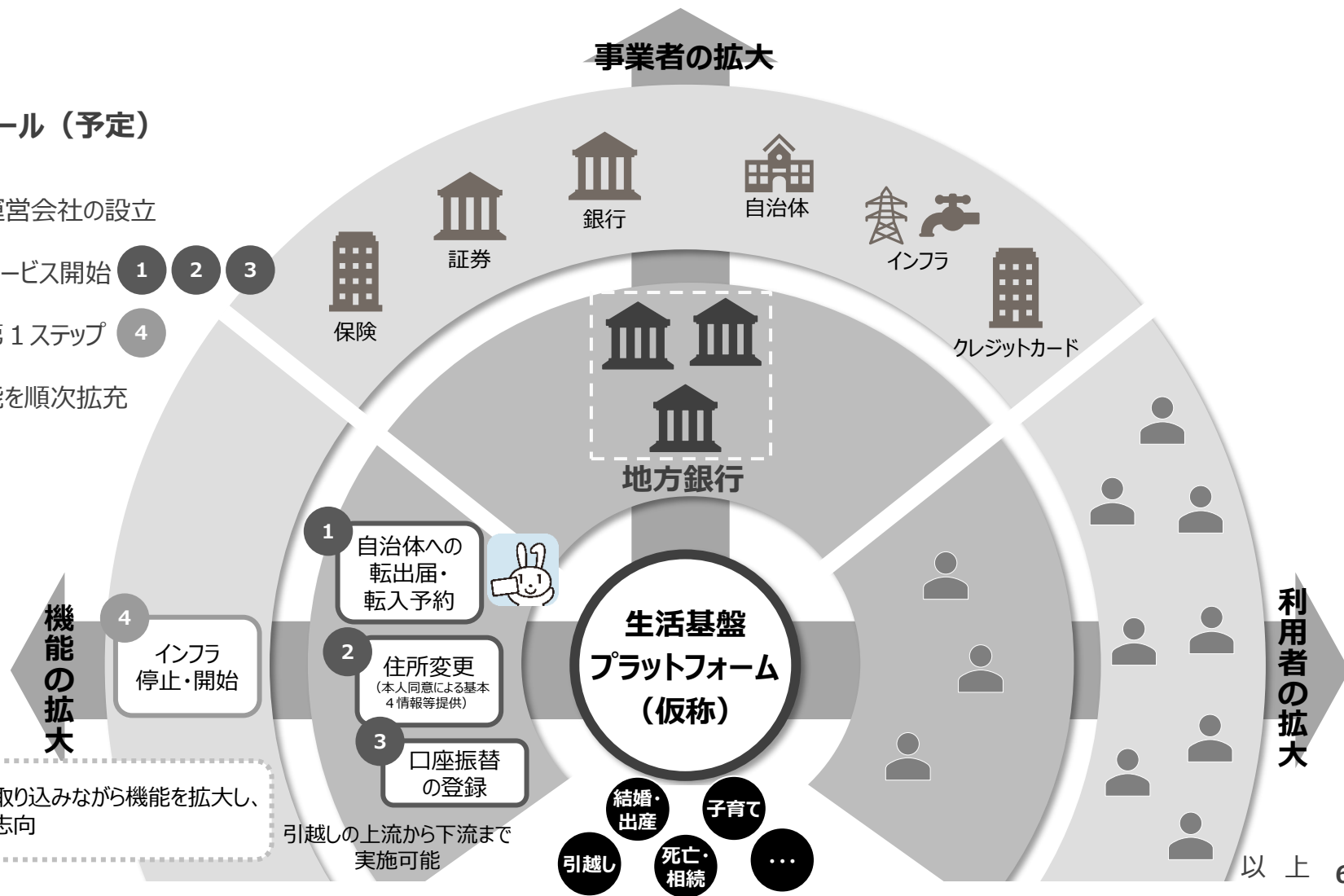


# 今後の主なスケジュール

- 2024年10月中目途に、地銀全62行が出資する**地銀ネットワークサービス**と**TOPPANエッジ**とで**運営会社**を設立予定
- 当初実装する引越しに伴う機能に留まらず、**利用者の利便性向上に繋がる機能を順次拡充**

## ■今後の主なスケジュール（予定）

- 2024年10月：運営会社の設立
- 2025年2月：サービス開始 ① ② ③
- 2026年2月：第1ステップ ④
- 以降も、新たな機能を順次拡充



将来的には様々な技術革新を取り込みながら機能を拡大し、利用者の更なる利便性向上を志向